

## 爪 水 虫

### 爪水虫とは

「爪はカルシウムでできている」と思っている人も多いのですが、爪は皮膚が変化してできたものです（余談ですが、サイの角も皮膚が変化したものです）。そのため、足と同じように爪も水虫になることがあります。いきなり爪だけが水虫になることはほとんどなく、足の水虫が徐々に爪に侵入すると考えられています。水虫にかかって10年たつと85%の人が爪水虫になるという報告もあります。従いまして、爪水虫にかかっているほとんどの人は足も水虫になっています。

わが国では5人に1人が足水虫で、10人に1人が爪水虫と言われており、決してまれな病気ではありません。

症状は爪が白や黄色に濁ったり、厚くなったり、もろくなったりします。表面だけが薄く剥がれることもあります。爪の中に神経はありませんので自覚症状はありませんが、爪の周りに炎症が起きたり、爪の変形により、かゆみや痛みが出ることがあります。

ただし、爪が白くなったからといって爪水虫と自己診断しないでください。爪水虫に似た病気は色々あり、病気により治療法は異なります。顕微鏡で水虫の菌（白癬菌）を確認しておく必要がありますので、皮膚科専門医できちんと検査を受けてから治療を受けてください。

なお、足の水虫は古くなると症状がしだいになくなってきます。夏はどうもないが冬だけ皮が厚くなりかかるとにひび割れができるという人は、角質増殖型の水虫の可能性もありますので、きちんと検査を受けておくほうがよいでしょう。

### 爪水虫の治療

爪水虫の菌は爪の奥深くにいるため、薬を塗っても菌のいるところまで十分な量の薬は滲みこんでいきません。そのため、近年は飲み薬による治療が基本になっています。内服治療で7~8割の人が治るといわれています。

飲み薬は2種類あります。

- ① 治療効果を見ながら毎日連続して飲む薬。半年くらいが目安です。
- ② 1週間薬を飲んだ後に3週間休薬、これを3回繰り返して内服を終了する薬。

どちらの薬も安全性は比較的高いとされていますが、まれに肝障害等を起こすことがありますので定期的な血液検査が必要です。肝臓病や妊娠の可能性のある人は飲むことができません。また、飲み合わせのよくない薬もありますので、内服中の薬があれば持参してください。

薬が効くと、爪が伸びるにともない水虫で白くなったところが先のほうに移動し、根元のほうからきれいな爪に生え変わってきます。非常に個人差が大きいのですが、足の爪が

生え変わるにはおよそ一年が必要です。内服終了後も経過観察が必要ですので、自己判断せずにきちんと受診してください。再発すれば一からやり直しになります。

角質増殖型の足の水虫も塗り薬だけではなかなか治りきりませんが、3～4ヶ月内服を併用することで完治させることもできます。

「治らない」と言われていた水虫は治せる時代になりました。

温泉やプールでうつされたと思っている人が多いのですが、一番多いのは家族内感染です。自分のためだけでなく、家族のためにもきちんと治しましょう。